

◇「ナゼスタイル」は長岡で頑張る企業・起業家を応援するフリーペーパーです。(季刊誌発行)

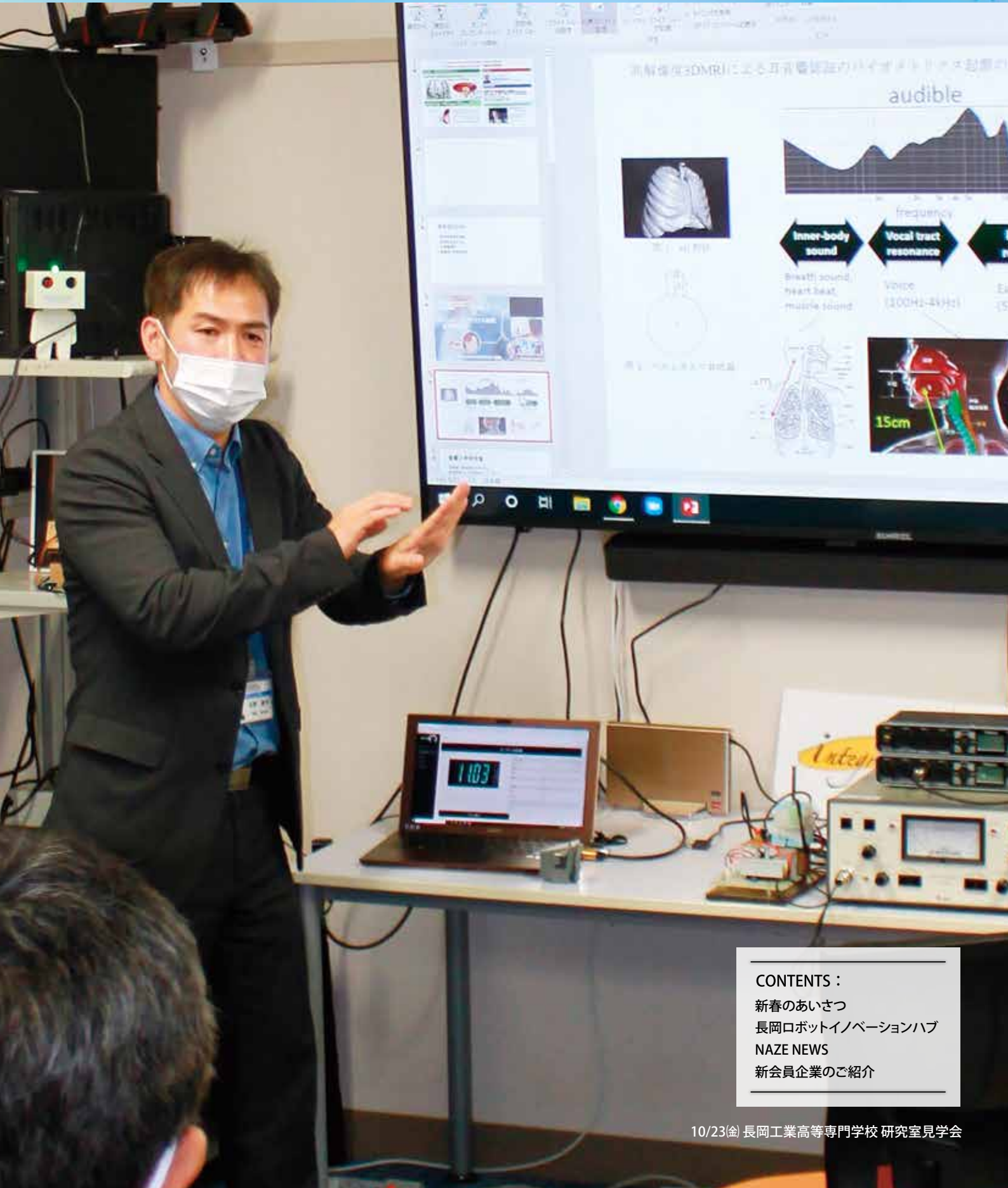
NAZE Style

Nagaoka Activation
Zone of Energy

vol.74

20210113

FREE
0円



CONTENTS :

新春のあいさつ

長岡ロボットイノベーションハブ

NAZE NEWS

新会員企業のご紹介

新春のごあいさつ

NPO 法人長岡産業活性化協会 NAZE 会長 大井 尚 敏

(株)オオイ 代表取締役



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

長岡地域の製造業は、明治時代の東山油田の削掘技術に端を発し、鉄鋼・鋳物をはじめ、近年では、電子、精密機器など多様な業種が集積し、設計図が1枚あれば何でも作れることが、強みであると考えています。今年度、NAZEは、こうした「ものづくりのエコシステム(生態系)」を活かしながら、新型コロナウイルスにより長岡地域の経済活動に深刻な影響が及ぶ中、また、製造現場での急速なデジタル技術の進展に対応するため、いくつかの新たな事業に取り組み始めました。

まず第1に、長岡市と連携し、「長岡ロボットイノベーション・ハブ」を立ち上げました。このハブでは、多品種小ロットの地域のものづくりで、ロボット導入には難しい地域におけるロボット導入を検討します。あわせて、県内最初の工業高校として地元企業に一番多くの人材を派遣している長岡工業高校とはロボット人材育成に関する連携協定を結び、将来の製造現場に必要な人材育成のためのカリキュラムを提供したことは、県内初の試みとして、注目されています。

第2に、新たに、JICAと、長岡工業高等専門学校、長岡技術科学大学と連携して、アフリカ・ケニアで取り組んだ食料課題に関する技術を、長岡のバイオコミュニティに活用する、リバーズイノベーションをスタートしました。JICAアフリカ加藤部長様からは、発展途上国への支援の仕組みを日本の地方の課題解決に生かすのは、全国初の試みであると激励のお言葉をいただいております。

第3に、長岡地域の優れた技術・製品をドラマ風に仕上げ、Web上で発信する「NAZEチャンネル」を開設しました。皆様からもぜひ、ご覧いただき、チャンネル登録をお願いします。

今後も、長岡市や長岡商工会議所、4大学1高専、地元金融機関と手を携えながら、産学官連携による、ものづくりの様々な事業に取り組んでいくことで、長岡版イノベーションの創出に貢献したいと考えております。

新春のごあいさつ

長岡市長 磯田 達 伸



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスにより、市民生活や経済活動に深刻な影響が及びました。長岡市はこれまで、医療体制の強化とPCR検査センターの早期立ち上げ、事業継続・設備導入支援など、120を超える対応策を実施してきました。貴会におかれましては、リモート環境整備の支援や緊急相談窓口の運営協力など、事業と雇用の継続に尽力する企業の支援に直ちに取り組んでいただき、心から感謝申し上げます。

めまぐるしい変化の時代に対応するため、「長岡版イノベーション」を掲げ、産業のデジタル化を支援し、人材育成と未来への投資、地域の産業振興について、貴会と一体になって推進したいと考えております。

課題解決に産学官の力を結集して取り組むため、昨年、新たなイノベーションハブが立ち上がりました。「水・発酵」に関するイノベーションハブでは、地域の豊かな自然環境に培われた“発酵・醸造文化”と“ものづくり産業”が調和するバイオエコノミーを目指しており、貴会が長岡工業高等専門学校、国際協力機構JICAと取り組む課題解決事業との連携も期待されます。また、貴会と協力して立ち上げた「長岡ロボットイノベーションハブ」では、コロナ禍により急務となった製造現場の自動化や省人力化への先進技術の活用が検討が進んでおります。

人材育成においては、貴会から長岡工業高校のロボット実習や学生団体のロボット世界大会挑戦にご支援いただいております。「米百俵プレイス」の先行施設であるNaDeC BASEを拠点に起業や新しいことに挑戦する、次世代のものづくり産業を担う人材が次々と育つことを願っております。

整備が進む長岡北スマート流通産業団地は分譲募集が終了し、大積スマートインターチェンジ(仮称)の新規事業化が決定しました。サテライトオフィス誘致を含め、新たな業態の企業進出が地元産業の活性化につながることを期待しております。

ウイルス禍でオンラインによる情報発信の機会が増える中、市では、ものづくりWeb見本市等出展支援事業補助金により企業のオンライン展示会への出展を支援するとともに、この2月には「長岡ものづくりフェア」をオンライン配信で開催いたします。子どもたちをはじめ、多くの市民や事業者の皆様から地元企業を知ってもらうため、貴会からご協力いただきながら、企業のPR動画の配信を中心に、ものづくりの魅力を発信してまいります。

結びに、貴会ならびに会員企業のますますのご発展と、今年一年が皆様と産業界にとって素晴らしい年になりますよう祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

長岡ロボットイノベーションハブ

企業のロボット実装検討

ロボットならびにIoT/AI等の先進技術を活用して、製造現場の自動化・省人力化を推進し、地域の生産性向上を図るため立ち上げた「長岡ロボットイノベーションハブ」。9月17日(木)の「キックオフミーティング」の後、10月20日(火)には「第2回 長岡ロボットイノベーションハブ」を開催し、ロボット導入事例の発表後、NAZE会員企業2社よりロボット導入に関する課題を発表していただきました。

熱気に満ちた意見交換によるオープンイノベーションを通じ、10月29日(木)よりロボット導入に課題を持つ(有)小林超硬研磨へ課題解決策を提案するため、多様なメンバーによるワーキンググループで検討を行い、12月22日(火)には「ロボット実装検討報告会」を行いました。

ワーキンググループでは、1月から新たな課題に挑戦し、3月予定の「第3回長岡ロボットイノベーションハブ」で発表する予定です。



後列左から、ものづくり改善インストラクター 吉田氏、ケミコン長岡(株) 市原常務、TDKラムダ(株) 戸川氏、米田グループマネージャー、INPUT 安原代表、(株)七里商店 大淵部長

前列左から、(株)タワシテック 田中社長、ものづくり改善インストラクター 上村氏、大井会長、(有)小林超硬研磨 石田班長、佐藤班長

県内初！ 長岡工業高等学校との協定

11月9日(月)、磯田長岡市長立会いのもとNAZE、長岡工業高等学校、(株)タワシテックと(株)七里商店の4者で「ロボット人材育成に関する協定」を締結しました。これは地元企業で不足しているロボット技術を持つ人材を育成するための継続的な協力と支援に伴う協定です。

締結式終了後には早速、(株)タワシテックの田中晃社長が講師となり、生徒に対し、最新の協働ロボットを用いた実習を行いました。

県立長岡工業高等学校 矢代 護 教諭より

このたび、関係者の皆様のご協力のもと、(株)デンソーウェーブ社製のロボット COBOTTA をご用意いただき、本校電子機械コース3年の生徒全員に実習を行う機会をいただきました。生徒からは「画像認識(処理)により、ワークの場所を変えても掴みにいくところが従来のものと大きく違い、驚いた」など、最新の機器に触れることで、多くの刺激が得られ、成長の様子を見てとれる有意義な実習となりました。今後とも、ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



左から、磯田長岡市長、大井会長、(株)タワシテック 田中社長、(株)七里商店 七里社長、高校校長

NAZEロボット講習会の開催

「長岡ロボットイノベーションハブ」ではロボット導入への課題解決を提案するのに合わせ、ロボットを稼働させる人材の育成を目的に4日間のコース(11/4,5、11/11,12)で、産業用ロボットに関する知識の習得や(株)デンソーウェーブ「COBOTTA」を使用した実践的な講習会を開催しました。

(株)アサヒプレジジョン 秋山 昌彦 課長より

当社も産業用ロボット導入検討を考え、まずは基本を学ぶために本講習会に参加させていただきました。本機は小型・協働ロボットとなりますが、教示作業中にロボット可動範囲に入ることがあり、NC旋盤やマシニングセンタの段取りより多くの緊張感を得て学ばせていただきました。最終日には修了証もいただけたため、今後のロボット導入に活かせる良い機会となりました。



ハブの 島津代表(前列右)、(株)タワシテック田中講師(島津代表の隣り)と受講者の皆さん

参加企業一覧

(株)アサヒプレジジョン (株)Welding (株)エーシートライ (株)大菱計器製作所 (有)小林超硬研磨
(株)七里商店 (株)永島工機 (株)プレテック・エヌ (有)毛利製作所 (順不同)

YouTube「NAZEチャンネル」開設 & ホームページをリニューアル!

10月12日(月)に開設した「NAZEチャンネル」では、webドラマ「GOUGI(豪技)」(アートディレクター高野宙氏制作)と、「NAGAOKAピカイチカイシャカタログ」(長岡工業高等学校放送局制作)を公開しています。また、ロボカップ世界大会で世界を目指すINPUTの映像も公開しました。ご期待ください!

12月15日(火)からのNAZEホームページのリニューアルでは、トップページからYouTubeチャンネルを見やすくしました。また、NAZEの事業活動を随時お知らせしている「広報部会Facebook」をホームページのトップの位置へ変更し、ご覧になる方々に事業活動をタイムリーにお知らせします。またトピックスも改良します。

ぜひ、ご覧いただき、NAZEチャンネルの登録をお願いします。



URL ⇒ <http://www.naze.biz/>

ハリウッドの技術を長岡工業高校生に! ～ NAZE映像制作講習会を開講～

NAZE「NAGAOKA・ピカイチ・カイシャ・カタログ」を制作している長岡工業高校放送局にて、映像制作技術の向上により、より良い作品とともに地域貢献することを目的に、映像制作講習会を開催しました。

講師には、NAZEの豪技YouTube動画を制作しているアートディレクター 高野 宙氏を招いて、「ハリウッドから学ぶ全米を泣かす技術」をテーマに、伝わる映像制作の基本を学びます。参加した生徒たちは、大変熱心に聞きっていました。また、盛沢山の内容で、プロの技術を身近に学ぶことができ大変好評でした。

第1回	12月 5日(土)	テーマの発掘～物語の書き方について
第2回	12月 9日(土)	脚本を元に効果的な撮影計画をたてる
第3回	12月26日(土)	実際のロケ地でカット割りや動線を確認
第4回	1月 4日(月)	撮影本番
第5回	1月 9日(土)	編集作業
第6回	2月 6日(土)	作品試写会



NAZE・長岡高専-JICA・技大リバースイノベーション ワークショップ 開催

リバースイノベーションとはアフリカの食料不足などの課題解決での取り組みが生んだ技術やビジネスモデルを長岡に「逆輸入」し、新産業創出などをめざす。具体的には、長岡市内企業の食品廃棄物を餌にミズアブを育て、飼料や肥料に活用する「循環型システム」の構築をめざすものです。実現すれば食品ロスが減り、これまで廃棄していたものが新たな価値を生み、地元経済効果への波及効果も期待できるバイオコミュニティを推進するものです。

●10月28日(水)【第1回ワークショップ開催】(参加者29名)

与えられた以下の3つのチャレンジ課題と食糧課題に対するアフリカでの取り組みを、長岡で活用する構想について長岡高専 村上先生・学生のみなさんから説明があり、意見交換がおこなわれました。

- ・チャレンジ課題0：循環型社会実現に向けた持続可能な食糧生産・供給システムのアイデア
- ・チャレンジ課題1：モノづくりの力でCOVID-19感染拡大を防止するアイデア
- ・チャレンジ課題4：コメの取引価格を改善! 簡易な機構の石抜き機のアイデア

●11月26日(木)【第2回ワークショップ開催】(参加者31名)

NAZE会員企業が中心となり、長岡高専の学生たちのアイデアにアドバイス・意見交換をおこないました。

2回のワークショップでの検討・アドバイスを踏まえ、学生たちがアイデアを12月21日(月)JICA(国際協力機構)での「JICA-高専オープンイノベーションチャレンジ進捗報告会」(Web会議)で発表しました。アイデアが形となるプロトタイプ制作・完成が楽しみです。



10/28

第1回リバースイノベーションワークショップ



11/26

第2回リバースイノベーションワークショップ

10/22(木) 県内企業視察会開催 (株)太陽工機 視察

(株)太陽工機は立型研削盤のシェアで国内首位を誇り、今年7月に「研削技術研究所」を開設し、顧客に自社製品の性能をアピールするとともに、さらなる高品質化につなげる拠点を視察することができました。

また、渡辺社長から世界規模の業況の推移と海外営業戦略等の説明をいただき、高品質化、顧客サービスの強化に向けた取り組みを身近に学ぶことができました。(参加者15名)



渡辺社長



10/23(金) 長岡工業高等専門学校 研究室見学会を開催

今回の見学会では、長岡高専の矢野昌平准教授(音響工学研究室)、和久井直樹助教(AI/IoT/Robotics)、内田雄大助教(放射線/プラズマ処理/材料分析)の3研究室を見学し、各研究室の取り組みなどを説明いただきました(参加者24名)。

NAZE会員企業の技術力が生かせるように、今後もこのような産学連携を通じてマッチングの機会を継続していきたいと思っております。



耳認証について説明する
矢野准教授



AI画像認識で錦鯉の選別を行う装置の研究を説明する
和久井助教



核融合やプラズマ照射等について説明する
内田助教

11/17(火)～18(水) 県外先進企業見学会(群馬県) 実施

今年度の県外先進企業視察先は、群馬県産業技術支援センターの紹介により、IoTの活用による生産管理やロボット導入の先進事例である2社を見学しました。

●**鈴木工業(株)** 受発注システムのIoT化による生産管理の徹底による生産性の効率化

●**株内 外** ルーティン作業のロボットへの移行と積極的戦略(インド工場稼働)

2社ともIoT、ロボットの導入による生産性の効率化に取り組む姿勢が印象的でした。

NAZEも長岡市と協力し実施している「長岡ロボットイノベーションハブ」の活動を通じて製造現場へのロボットやAI/IoTの導入に取り組んでいるところです。(参加者11名)



次世代発酵産業

～バイオ産業とものづくり産業との融合の可能性～を学ぶ

11月25日(水)に長岡技術科学大学 技術科学イノベーション専攻 兼 生物機能工学専攻 教授の 小笠原 渉 氏を講師に招き吉乃川醸蔵にて講演会を開催しました(聴講者20名)。

長岡市民の生活に文化として根付く「発酵」をテーマに、その歴史や、AI、DXの時代に「なぜ今、古典的な発酵を科学するのか?」について紹介され、また地域の新産業創出やバイオコミュニティ推進にむけた取り組みについてもお話いただきました。

講演終了後は新潟県最古の酒蔵である吉乃川醸蔵にて、発酵についての理解を深めつつ交流会を行いました。

長岡ものづくりの技術は、いろいろな効率向上や問題解決に利用できると感じました。



新会員企業のご紹介



ケミコン長岡 株式会社

〒940-2127 長岡市新産3丁目4番地12
Tel : 0258-46-2244 Fax : 0258-46-9535
E-mail info-cna@nippon.chemi-con.co.jp
HP <https://www.chemi-con.co.jp/company/nagaoka/>

アルミ電解コンデンサにおいて世界シェアNo.1である日本ケミコングループの一員として1982年に長岡の地に創業して以来、様々な機構部品、電子部品の開発・生産を担ってきました。

これまで様々な製品を世の中に送り出してきましたが、技術変動の波に揉まれながらも事業継続できているのは変化に強い会社だと自負しています。

現在は車両及び産業機器用カメラモジュール、及び電気二重層キャパシタを用いた車両用モジュールの開発・生産を行っていますが、新たにソリューション提供も視野に入れたビジネス展開を行います。

これからも培った技術をDNAとして、引き続き全社員の力を結集させ、社会へ貢献出来るよう取り組んでまいります。

今回入会させて頂きましたNAZEを通じ、御会参画の各事業者様や産官学とも連携しつつ、皆様と共に更なる発展を視野に入れたいと考えております。

今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



integrAI 株式会社 IntegrAI

インテグライ

代表取締役 矢野昌平
〒940-8532 長岡市西片貝町888
Tel : 0258-34-9247 Fax : 0258-34-9700
E-mail syano@nagaoka-ct.ac.jp

株式会社 IntegrA (インテグライ) は長岡高専発のスタートアップ事業として令和2年7月に創業しました。長岡高専の地域課題解決プログラム「プレラボ」でアナログメータの自動読み取りを研究したことがきっかけとなり、研究成果を社会実装するために会社として起業しました。「2025年の崖」を乗り越えるためのDX化をいかに早く進められるか、その鍵を握るのは「現場のデータ」だと強く信じております。AI、IoTの知見を生かして製造業における「アナログデータ」をDX化し現状を迅速に捉える仕組み作りを実現します。データを元にした意思決定を行うことでコスト、時間、労力の大幅削減、新しい「イノベーション」に役立てる取り組みをお手伝いします。

アナログメータを始め、液晶画面、制御版、ラベル、製品の外装など様々な「モノ」をカメラとAIの組み合わせによりデータ化いたします。長岡を拠点に、未熟ながらも皆様から物づくりのイロハを学ばせていただき、現場に密着したスピーディーな「アナログデータ」のDX化を推し進めて参ります。



主力製品 : MeterAI (メテライ)
AIによるメータ等の読取、DX化推進アプリ



ナガイSCT 株式会社

〒940-2127 長岡市新産2丁目7番地7
Tel : 0258-46-9811 Fax : 0258-46-9812
E-mail info@nsct.jp
H P http://www.nagais.co.jp/

ナガイSCT株式会社は平成22年11月に創業、クラウドソリューションシステムの企画開発、LAN・WANネットワークの構築、複合機やパソコン・サーバーなどのシステムの販売、IT機器の修理メンテナンス・サポートを行っています。

また、当社が開発したお客様の売上管理をもっと簡単、分かりやすくする販売管理システム、自由なレイアウトでWebサイトの作成ができるサイト制作システム、お客様の作業効率を大幅にアップする工程管理システム、情報共有に特化したクラウド型のアプリケーション社内業務情報共有システムで、お客様のご負担になっている業務を軽減できるようにサポートいたします。

その他にも明日の生産現場や制御技術を支える若者を育てるため、全国の工業高等学校や工業高等専門学校の子制御学習向けの教材キットを開発・販売しております。

当社はナガイ「お役立ち」を常に心得、地域に密着した活動でお客様先業務における生産性向上に将来にわたって貢献するベストソリューションパートナーを目指しております。

お客様一社一社のビジネスを少しでもご活性化頂き、業務をより効率化して頂くため、常に新たな発想と身近なソリューションパートナーとしてお役に立つべく努めて参ります。

「一隅照人」を旨とし、地元のお客様と共に未来を拓くことをスタッフ一同ガッツとアイディアで邁進致します。



株式会社 長岡歯車製作所

〒940-1146 長岡市下条町777
Tel : 0258-23-3333 Fax : 0258-23-3335
E-mail gear@nagaha.co.jp
H P https://www.nagaha.co.jp

(株)長岡歯車製作所は1946年に歯車の製造と販売を目的に開業しました。「量より質」「易より難」をモットーに多品種少量生産のオーダーメイド高精度歯車、高機能歯車の製作を行っている歯車加工専門会社です。創業当時は近隣のお客様のみでしたが、現在は日本全国に商圏を広げ、主に工作機械、印刷機械、産業機械向けの歯車を供給しております。

私どもは、ここ数年採用活動に力を入れてきました。団塊の世代の方々に入れ替わりに若い従業員が入社し主役になっています。現在、製造現場の平均年齢は29.8才で「歯車のプロ」になろうと頑張っています。ぜひ、叱咤激励にお越しく下さい。

2018年度に「非円形歯車」が“豪技”に認定されました。非円形歯車は等速の入力回転を不等速回転に変える歯車です。これまで平行軸用の非円形歯車だけでしたが、現在公差軸向けの「非円形ベベルギヤ」も開発を進めております。今年度は、[YouTube : NAZEチャンネルにて] ウェブドラマ『GOUGI』第2話「個性が世界を回す。非円形歯車」として取り上げて頂きました。不思議な世界観で表現されていますので、ぜひご覧ください。

これからの時代、「企業間の連携」、「支援機関との連携」がますます重要になってきます。地域のHUB企業となれるよう頑張りますので、これからも宜しくお願いたします。





株式会社 共英鑄造所

〒940-0882 長岡市宮下町420-1
Tel : 0258-24-2558 Fax : 0258-24-3385
E-mail Kyouei@beach.ocn.jp

鑄物は文明の原点！寿の字をいただいた産業です。稲作や産業革命を支えてきた技術ともいえます。弊社は長岡の地にて創業110年の鑄物屋です。本家は天明鑄物（江戸時代創業）で鍋・釜・風呂釜を作っていました。第10代将軍徳川家治の時、日光東照宮の前の川にかかる赤い御神橋の擬宝珠を、第13代太田五郎平が奉納しました。

技術と信用をモットーとし、品質を第一と考え不良率“0”を目標に品質の維持・向上に努めております。また、クリーン・キャストイングを掲げ環境改善に努め、若者の集まる快適工場を目指しております。図面一枚で鑄造方案だけでなく設計アドバイスも行い加工・組立でも不具合が出ない様しているため、受注品の半数以上が他社での不具合で転注されてきたものです。

鋳鉄鑄物 ねずみ鑄鉄 (FC250~FC300)
ダクタイル鑄鉄 (FCD450~FCD700)

製品重量1,200kgまで、多品種小ロットにも対応しております。工作機械・産業機械向けなど、摺動面や焼入れのあるものを多く製作しております。ポンプ・バルブなど気密性を要するものも製作しており、高層ビルなどの消火栓のバルブも弊社の鑄物をご使用いただいております。

LOWテクと言われながらも奥の深い産業です。AIやロボットを導入したくても出来ない鑄物業界です。たった1個でもオシャカを作らない技術。設備投資や資本力に負けない技術。

鉄は錆びて朽ちて行きますが鉄鑄物は半永久的に残ります。なくならない産業のはずなのにどんどん衰退しているのが現状です。いかに残していくか、いかにして生き残るかが課題です。

いちの光を見出したいと入会させていただきました。



NAZE 今後の主な予定 (～令和3年3月)

- 2月3日(水) 第25回機械要素技術展(東京M-Tech)
～5日(金) 「長岡ものづくりゾーン」として6社が出演
- 2月13日(土) 第3回全日本ハンドスピナー大戦
8社9チームが参加 「長岡モノづくりフェアオンライン」同時開催
- 2月19日(金) 令和2年度 第3回理事会
第2回通常総会の議案等について協議
- 3月17日(水) 令和2年度 第2回通常総会
令和3年度事業計画・収支予算案を協議



昨年のM-Tech



昨年の全日本ハンドスピナー大戦

NAZEは現在85会員！

法人81・個人4

(株)アサヒプレジジョン 飛鳥運輸(株) (株)アドテックエンジニアリング (株)阿部製作所 (株)アルモ (株)アンドウ (株)池田機工 IDIoT イトーキマルエ工業(株) (株)IntegrAI (株)Welding エヌ・エス・エス(株)	(株)N D C (株)エム・エスオフィス (株)オオイ (株)大善 (株)オータニツール (株)大塚木型製作所 (株)大原鉄工所 (株)大菱計器製作所 小川コンベヤ(株) (株)片山抜型製作所 (株)共英鑄造所 (株)久保誠電気興業(株)	クリーン・テクノロジー(株) クワイエットエンジニアリング(株) ケミコン長岡(株) (株)小西鍍金 (有)小林超硬研磨 (株)サカタ製作所 (株)佐藤板金 (株)サンシン JPC(株) (株)システムスクエア (株)七里商店 (株)シナダ	(有)シンエー木型工業 (株)鈴民精密工業所 (株)大光銀行 (株)第四銀行 第四電設(株) (株)タカハシ (株)タワシテック デジプロ研 テラノ精工(株) (株)東洋冶金 (株)トーエイ (株)トクサイ	ナウエス精工(株) ナガイSCT(株) (株)長岡金型 長岡技術科学大学 長岡工業高等専門学校 長岡信用金庫 長岡造形大学 長岡大学 (株)長岡歯車製作所 (株)永島工機 (株)中條製作所 (株)中津山熱処理 (株)ナノテム (株)難波製作所	(株)ネオス (株)波多製作所 (株)林メッキ工業所 (株)BSNアイネット長岡支社 (株)藤谷製作所 (株)淵本銅機 (株)ブリッジ 古川機工(株) (株)古川廣吉鉄工所 (株)プレテック・エヌ (株)北越銀行 (株)ホクギン経済研究所 北陽精工(株) マコー(株)	(株)丸栄機械製作所 (有)毛利製作所 ユニオンツール(株)長岡工場 吉井国際特許事務所 (有)若月鉄工所 野中 敏(個人) 古口日出男(個人) 廣井 晃(個人) 柳 和久(個人)
--	---	---	--	--	---	--

(R3.1.1)

長岡で頑張る企業、起業家を応援します！

ナゼ くわしくは → <http://www.naze.biz/>

●記事内容についての感想をお待ちしています！

Nagaoka Activation Zone of Energy 〒940-2127 新潟県長岡市新産4丁目1番地9 NICO テクノプラザ内 NAZE 事務局
長岡産業活性化協会 NAZE TEL : 0258-42-8700 FAX : 0258-42-8701 E-mail : info@naze.biz

印刷：(有)めぐみ工場

